

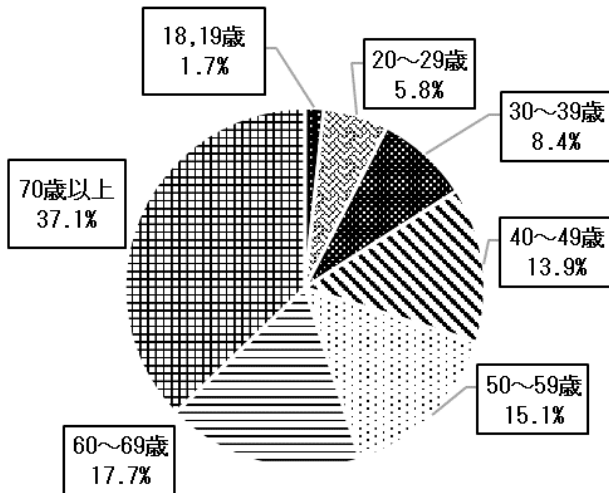
令和 5 年 11 月 1 日

令和 5 年度県政世論調査結果（概要）

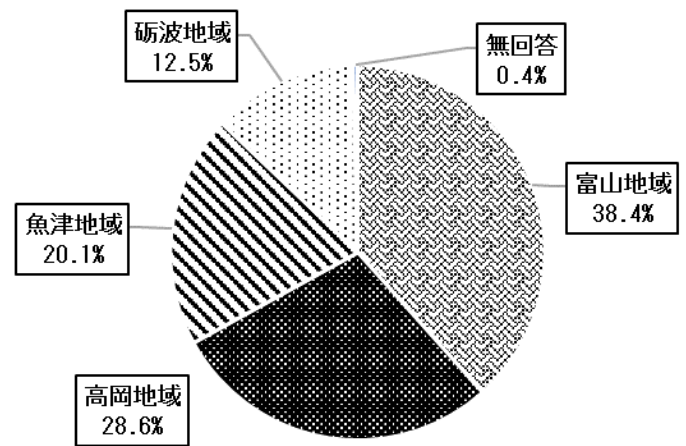
<調査の概要>

- | | |
|----------|---|
| 1 調査対象 | 県内に居住する満18歳以上の男女4,000人 |
| 2 調査期間 | 令和 5 年 8 月 7 日～9 月 7 日 |
| 3 調査方法 | 郵送調査 |
| 4 回収数(率) | 1,990人 (49.8%) (10月1日時点)
※うちWEB回収 451 (全回収数の22.7%)
< R 4 年度 : 1,873人 (46.8%) ※うちWEB回収455人
(全体回収の24.2%) > |

5 年代・地域別 (世代別)



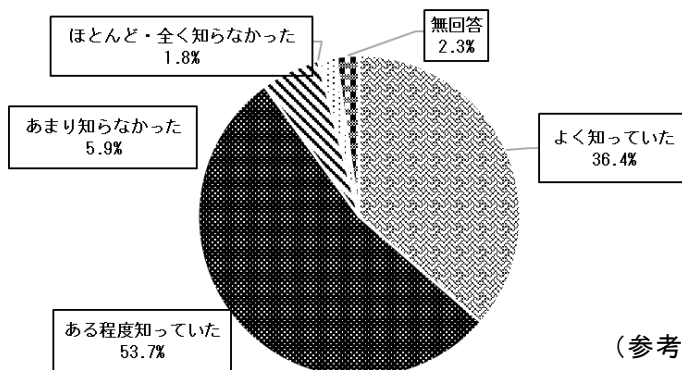
(地域別)



食品ロスの削減について

(1) 食品ロスの認知度について (単一回答)

・『よく知っていた』と『ある程度知っていた』を合わせて、前回(R4)同様、9割を超えている。



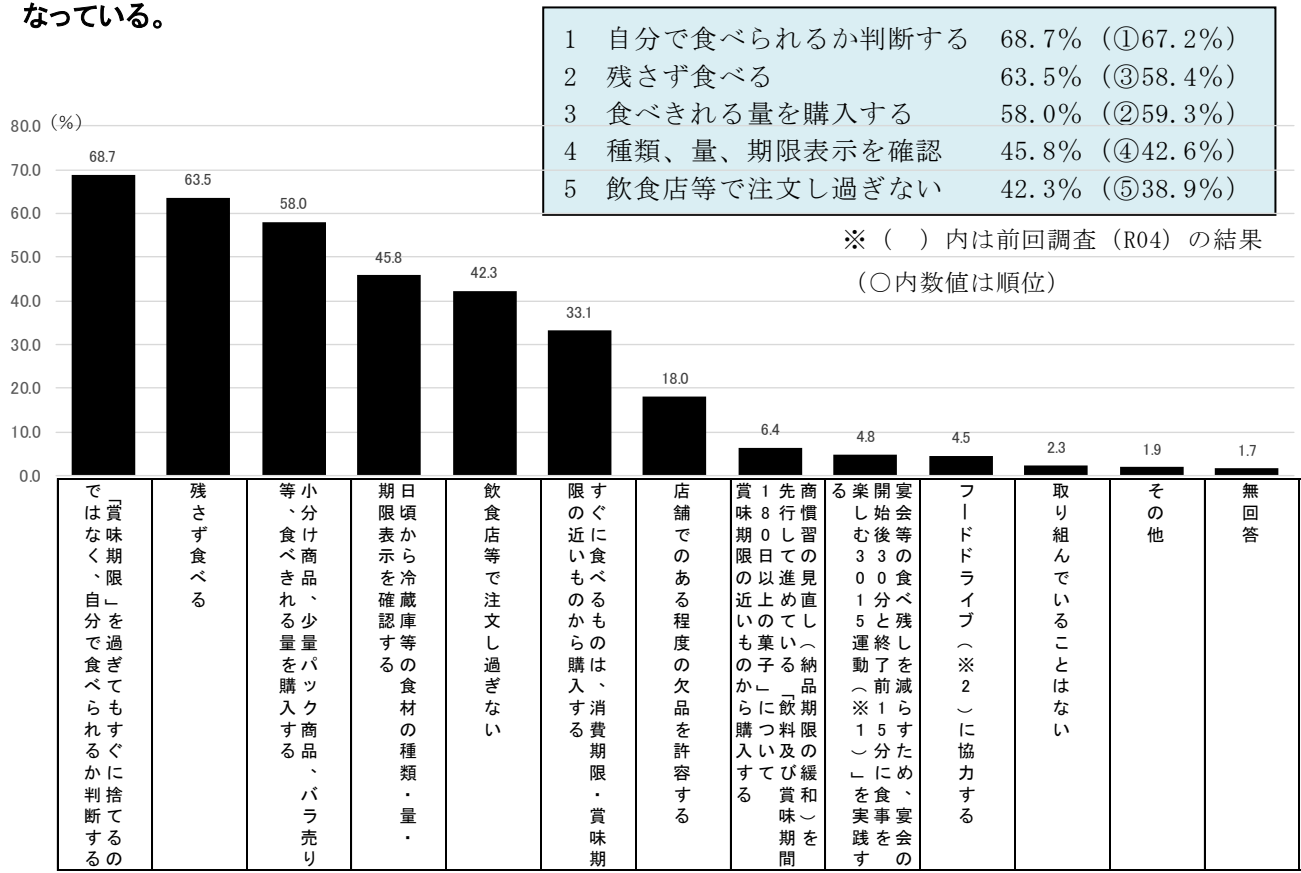
・よく知っていた	36.4%	(40.3%)
・ある程度知っていた	53.7%	(50.9%)
小計	90.1%	(91.2%)
・あまり知らなかった	5.9%	(4.4%)
・ほとんど・全く知らなかった	1.8%	(1.3%)
小計	7.7%	(5.7%)

※ () 内は前回調査 (R04) の結果

(参考) 食品ロス問題を認知し、削減に向けて何らかの取組みを行っている人の割合

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
県	70.1%	80.9%	81.3%	90.7%	89.7%	88.6%
国	71.0%	76.5%	76.6%	78.3%	76.9%	76.7%

(2) 食品ロスを減らすために取り組んでいることについて (複数回答: いくつでも)
 ・『自分で食べられるか判断する』が1位、次いで『残さず食べる』、『食べきれる量を購入する』の順となっている。



※1「3015 (さんまるいちご) 運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動。

〔食べきり3015運動〕: 宴会時において、開演後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動。

〔使いきり3015運動〕: 毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使い切る運動。

※2「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている福祉団体やこども食堂などに寄付する活動。